

平成26年度 第1回大和市総合計画審議会 会議録

- 1 日 時 平成26年7月30日(水) 午前10時00分～11時50分
- 2 場 所 大和市保健福祉センター5階501会議室
- 3 出席者 委員9名
(井川、池田、大津留、川淵、田中(孝)、田中(寛)、谷中、中林、平田)
(欠席者4名)
- 4 傍聴人 なし
- 5 次 第
 - 1 委嘱状交付
 - 2 市長挨拶
 - 3 委員自己紹介
 - 4 会長選出
 - 5 議 題
 - (1) 総合計画審議会の役割について
 - (2) 施策評価の進め方等について
 - 6 その他
次回開催日程 ほか
- 6 会議資料
 - 資料1-1 : 総合計画審議会の役割について
 - 資料1-2 : 大和市総合計画審議会規則
 - 資料2-1 : 施策評価の進め方(案)について
 - 資料2-2 : 大和市第8次総合計画 前期基本計画と後期基本計画の変更点
 - 資料2-3 : 評価部会の委員構成と今年度に評価対象とする「個別目標」(案)
 - 資料2-4 : 平成26年度施策評価(二次評価)シート(案)
 - 参考資料⁽¹⁾ : 平成26年度「めざす成果 1-1-1」施策評価シート(案)
 - 参考資料⁽²⁾ : 平成26年度「めざす成果 1-1-2」施策評価シート(案)

【議 事】

- 会長 : 「総合計画審議会の役割について」に関し、事務局に説明を求める。
- 事務局 : **【資料1-1、1-2について説明】**
- 会長 : 事務局の説明に質問等はあるか。
- 一同 : 意見なし。
- 会長 : 今後、平成30年度には次期総合計画の策定作業に取りかかるわけだが、それまでの間に行う総合計画の進行管理としての施策評価が重要である。
-

- 会長 : 「施策評価の進め方等」について、事務局から説明をお願いします。
 事務局 : **【施策評価の進め方等のうち、資料2-1について説明】**
 委員 : 作業部会は総合計画審議会の中で開催されるのか。
 事務局 : 部会を2つ設置し、各委員にはいずれかに所属していただく。部会はそれぞれ、別々の日に開催するが、総合計画審議会の扱いとしたい。
- 会長 : 前審議会までは審議会全体で施策評価を行っていた。しかし、昨年度の審議会で協議した結果、作業量が多く詳細な評価が難しいので、負担を軽くし、時間をかけた議論をするために作業部会を設けて分担して進めようということになった。作業部会における議論を実際に行ったうえで、審議会全体で取りまとめる評価の方が望ましいということになれば、もとに戻すということも考えられるのではないか。
- 委員 : 全体の審議会とは別の日に作業部会を開催するのか。
 事務局 : 全体の審議会と作業部会は別の日に開催する。
- 会長 : 「施策評価の進め方等」について、事務局に次の資料の説明をお願いします。
 事務局 : **【資料2-2及び2-3について説明】**
 会長 : 平成26年度からスタートした後期基本計画については、前期基本計画の施策評価を踏まえて策定したもので、スリム化されたというよりは、個別目標が3つ増えている。こうした中で、今年度に進めていく施策評価の対象施策については、庁内の所管部署から希望があったものや、市として積極的に推進している施策の中から事務局が抽出したものが案として示されている。また、評価部会の委員構成だが、第1評価部会はソフト面の施策、第2評価部会がハード面の施策を中心に配慮されていると捉えられる。事務局の説明について、質問はあるか。
- 一同 : 意見なし。
- 会長 : 第1評価部会と第2評価部会の割り振りについて、希望がある委員はいるか。
- 一同 : 意見なし。
- 会長 : 評価部会の委員構成について、事務局としての考えがあれば示して欲しい。
 事務局 : 事務局に評価部会の委員構成の案があるので、示させていただいてもよい。
- 一同 : 異議なし。
- 会長 : 委員構成の案について、事務局から説明を求める。
 事務局 : 主に人の健康を評価する第1評価部会については、川淵委員、田中（寛）委員、谷中委員、豊田委員、仲委員、長谷川委員、平田委員にご就任いただきたい。主にまちの健康を評価する第2評価部会は、井川委員、池田委員、遠藤委員、大津留委員、田中（孝）委員、中林委員にご就任いただきたい。有識者委員の専門性や公募委員が応募の際に提出された選考論文等

- を踏まえて2つの部会に割り振りをさせていただいた。
- 会長 : 今の説明について、意見等はあるか。
- 一同 : 意見なし。
- 会長 : 評価部会を進めていく際は、所属する委員の都合を最優先に日程を決めていくが、他の部会の委員でも、内容に興味があり、日程の都合がつけば、議論に加わることができるということでしょうか。
- 事務局 : そのような取扱いとしたい。評価部会の日程については、所属していない委員にも通知し、別の部会への参加について配慮していく。
- 会長 : 各評価部会では、1回あたり2つの個別目標を対象に評価を実施していくが、結論が得られなかった場合には、次回の評価部会に結論を持ち越すこともあると思う。その辺は、部会ごとに判断し調整していくこととする。
- 事務局 : 評価部会の部会長についても決めていただきたいと考えている。事務局案としては、第1評価部会では川淵職務代理、第2評価部会では会長を想定しているのだが、どうか。
- 会長 : 部会長について、希望があればどうか。
- 一同 : 希望なし。
- 会長 : 希望がないようなので、各部会員については事務局案のとおりとすることでしょうか。
- 一同 : 異議なし。
- 事務局 : 次回に開催される評価部会において、副部会長の選出もお願いしたい。
- 一同 : 異議なし。
- 会長 : 評価部会に関する規約はあるか。
- 事務局 : 大和市総合計画審議会規則で、部会を設置することができるかと規定しているのみである。
- 会長 : 評価部会に関する内規を定めておくことが望ましいと考えるのでお願いしたい。
- 事務局 : 次回の評価部会が開催されるまでに定める。
- 会長 : 次の資料について、事務局より説明をお願いする。
- 事務局 : **【資料2-4について説明】**
- 会長 : 総合計画審議会における評価結果となる資料2-4は、市役所の担当課が記入する一次評価シートと市役所職員へのヒアリングをもとにまとめていくようになる。前回の施策評価で平成21～23年分は評価済であるため、今回は「追加の評価」として、24～25年分の内容を評価していくとの説明であった。前回の評価で24年までの取り組みも含めて、評価した施策もあるので、そうしたものについては、「追加の評価」が空欄となることも想定される。現在、後期基本計画に基づいて、施策が動き出しているため、これまでの取り組みを踏まえて「今後の施策展開に向けて」に総合計画審議会としての提案をまとめるということで良いか。

- なお、評価部会の開催前には、各委員に事前に資料提供がなされるのか。
- 事務局 : 評価部会の際には、担当の市役所職員が同席するので必要に応じて意見を聴取していただいて構わない。評価結果の集約については、事務局としても、ただいまの会長の発言のとおり整理している。また、評価部会の開催にあたっては各委員に資料を事前に提供していく。
- 会長 : 事務局の説明に意見はあるか。
- 委員 : 一次評価シートについて、前回の記載内容と変わった部分等が明らかになっていると議論を進めやすい。また、前回の総合計画審議会の二次評価結果を踏まえて、所管部署がどのような対応をしたのか可能な範囲で明らかにしておいてほしい。
- 事務局 : 評価部会の開催までに、一次評価シートのレイアウトを工夫するとともに、前回の総合計画審議会の二次評価結果の捉え方については、各所管部署に整理させておく。
- 委員 : 今後、審議会で進めていく作業が細かいものであることはよく分かった。ただ、社会状況が変わってきている中で、評価する内容について検討が必要であると思う。後期基本計画書において、例えば、子どもに関する内容のうち教育の分野は記載されているが、子どもの貧困への対応などは記載されていない。日本の高い貧困率は課題となっていて、相模原市などでは積極的に取り組んでいたりする。総合計画に記載されていない施策について、次期計画ができる平成31年度までの間、どのように対応していくのかは問題ではないか。
- 事務局 : 後期基本計画書に登載されていない施策であっても、関連する個別目標の施策評価の中で、「今後の施策展開に向けて」の欄に総合計画審議会の意見として、必要な施策について触れていただくことは可能である。
- 会長 : 総合計画書に記載されていない、施策についてどのようにしていくのかはこれまでも課題となってきた。施策評価や計画の進行管理を行っていなかったときは、次期計画を策定する際に、入れ替えるという考え方であった。ただ、施策評価を実施するので、現行の計画書に登載されていない、新しい課題や問題は総合計画審議会の意見として、市長に提言していく重要な中身になると思う。また、来年度以降、必要に応じて、問題がある施策を審議会の側から選択していくことも考えられるのではないか。
- 委員 : 先程、今年評価していく個別目標の事務局案について了承したが、部会ごとに委員の側から早期に評価すべき施策を選択してはどうか。
- 事務局 : 委員のご意見を受けていく立場であり、委員の方が選ぶ施策も含めて並行して進めてくことも可能であると思う。
- 会長 : 部会に分かれるので、資料2-3にある個別目標のボリュームと同程度の評価を行いたいと思う。めざす成果の項目間にまたがるものもあることに留意しつつ、部会の中で、今年度評価していくべきものを議論してもらえ

- ればよく、それが部会を設けた最大のメリットでもあると考えられる。
- 事務局 : 資料の準備等もあるので、次回の部会における評価対象項目を決めていただければと考えている。2回目以降の評価項目は、次回の部会で決めてもらえればと考えている。
- 会長 : 施策評価結果については、毎年度とりまとめて市長に提言を行うのか。
- 事務局 : 総括的な提言は3年目と考えているが、年度ごとにも評価をとりまとめて結果は必要に応じて市長に報告を行いたいと考えている。
- 会長 : 1回目は資料2-3に記載されている施策を上から順に評価していくこととし、緊急性の高いものなどは評価部会の議論の中で選択して決めていくということによいか。
- 委員 : 年間のスケジュールを考えると1回の部会で2つの個別目標を評価していく必要があると考えられるので、資料2-3の最上位に記載されている項目と、各所管が早期の評価を希望する項目を評価してはどうか。
- 事務局 : それでは、第1回目の部会について、第1評価部会では個別目標1-1及び1-3と2-2、第2部会では個別目標3-1と5-2からの評価をお願いしたい。
- 一同 : 異議なし。
- 会長 : 評価のボリュームを考えると、所管等からの資料の説明は明瞭かつ簡潔に対応するようお願いする。
- 事務局 : そのように対応する。

以 上